

# 2014年3月期決算 説明会資料

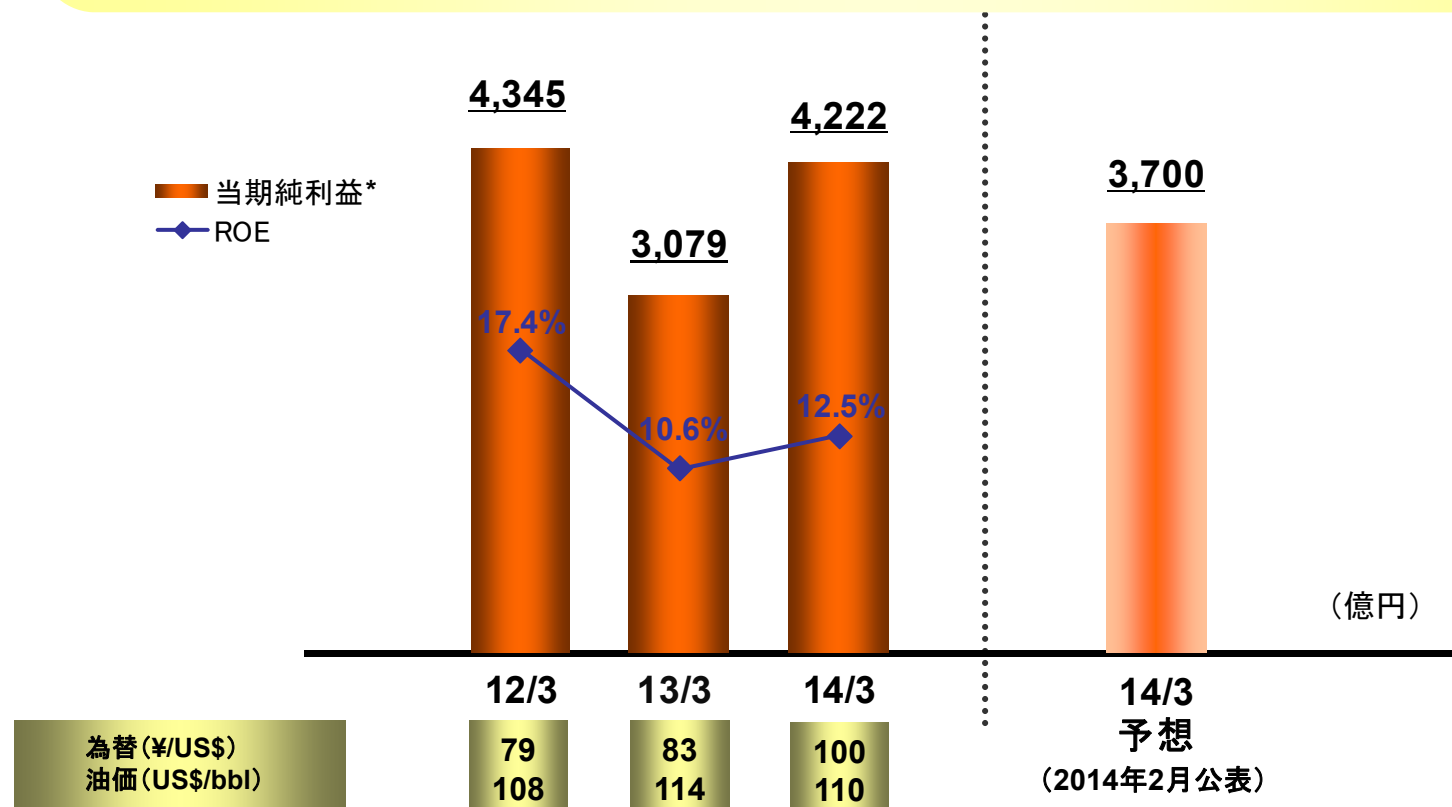
三井物産株式会社  
2014年5月7日

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 2014年3月期決算 業績概要

当会計年度を通じて、世界経済は先進国の金融緩和策の効果により全体としては緩慢ながらも回復基調を維持。年後半には、先進国経済と新興国経済の間の景気局面の違いが鮮明化し、回復のペースはまだら模様。今後の世界経済の展望は、米国を中心とした先進国経済に牽引されながら、徐々に景気回復のテンポを速めると予想。

- ✓ 当期純利益は4,222億円、前期比で1,143億円(37%)の増益。
- ✓ 持分法投資先に関わる一過性損失の影響を受けたが、有価証券売却益や円安効果に加え、LNG配当増、化学品・鉄鋼製品のトレーディング復調などが増益に貢献。



\* 本資料では「当期連結純利益(三井物産(株)に帰属)」を「当期純利益」と表記しております。

# 2014年3月期 投融資計画の進捗

- ▶ 当期投融資実行は1兆100億円と計画通り。
- ▶ 資産リサイクルを積極的に進め、当期累計で3,050億円を回収。ネット資金支出は7,050億円。

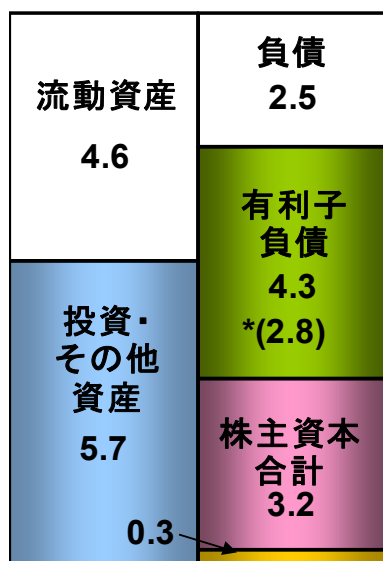
事業分野	通期 投融資計画	年間累計 実行分(億円)	主要案件
金属	2,800	2,550	豪州鉄鉱石の能力拡張、豪州鉄鉱山、米州自動車プレス部品事業、カセロネス銅鉱山開発
機械・ インフラ	2,800	2,900**	ブラジル水力発電、豪州発電/電力・ガス小売、リース用鉄道車輛、社有船、チェコ水事業
化学品	400	400	米タンクターミナル拡張、米メタノール製造
エネルギー	3,200	3,400	イタリア陸上油田開発、原油・ガス拡張、シェールガス・オイル開発
生活産業	500	600	米国医療人材関連、インド輸液製造、米シニア施設・住宅
次世代・ 機能推進	300	250	インドネシア高速携帯通信
投融資合計	10,000	10,100	
リサイクル	▲1,700	▲3,050	伯FPSOリファイナンス、エジプト・ニュージーランド油田権益、リース用鉄道車輛、三井石油株式、QIWI株式
ネット	8,300	7,050	

- \* 青字の案件は第4四半期で新たに進捗したもの。
- \*\* 14/3期中に実行予定であったブラジル一般貨物輸送事業VLI社宛て投資(約660億円)は、15/3期に期ずれた為不含。(2014年4月14日投資実行)

# バランスシート、キャッシュ・フロー

## バランスシート

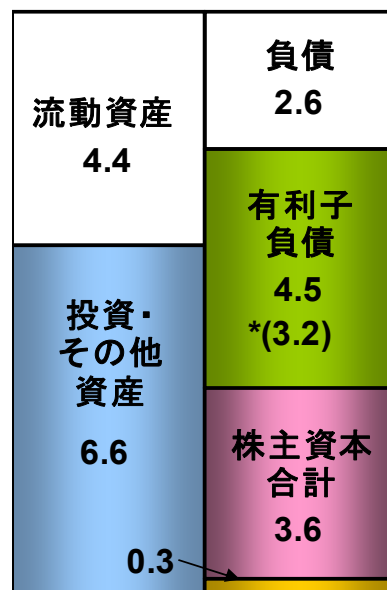
(兆円) 13/3



非支配持分

総資産	10.3兆円
株主資本	3.2兆円
ROE	10.6%
Net DER	0.89倍

14/3



非支配持分

総資産	11.0兆円
株主資本	3.6兆円
ROE	12.5%
Net DER	0.90倍

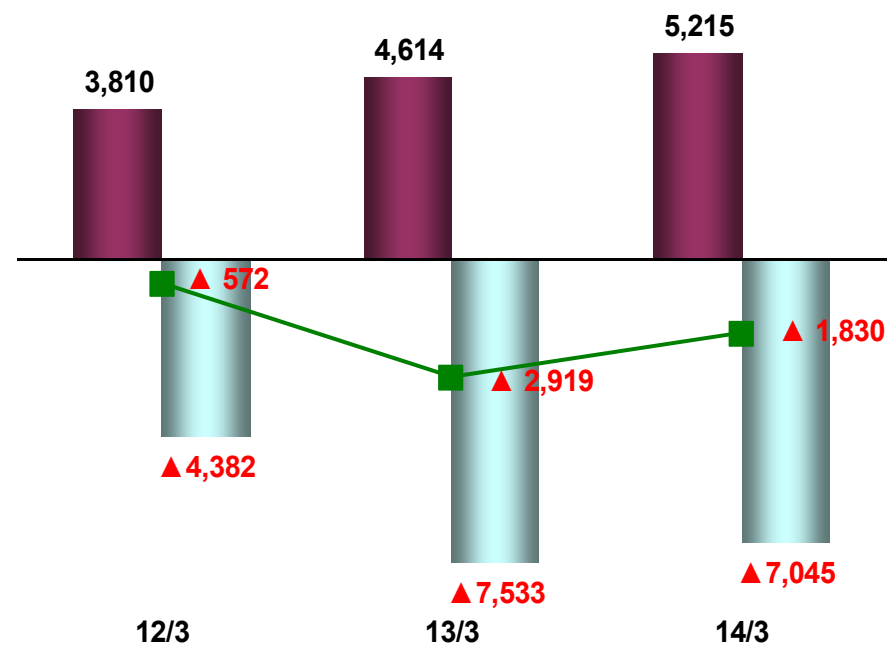
(\*)有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

## キャッシュ・フロー

▶ 当期営業キャッシュ・フローは5,215億円の資金獲得。  
前期との比較で601億円増加。

(億円)

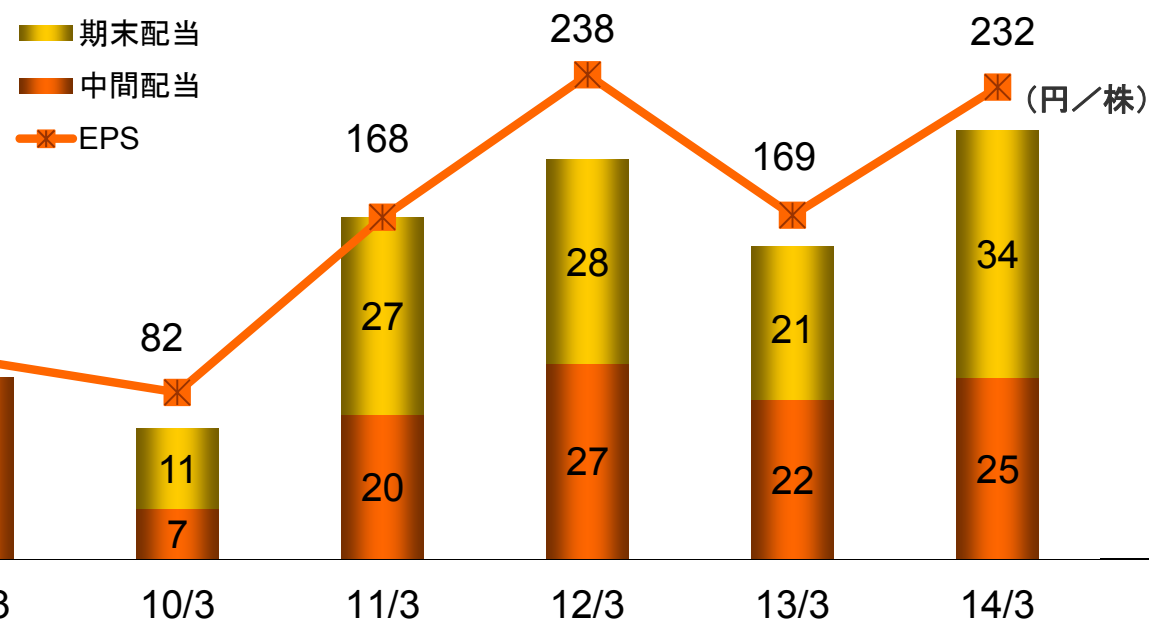
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリーキャッシュ・フロー



(通期)

# 2014年3月期 株主還元策

年間配当は1株当たり59円、期末配当は34円を予定  
(連結配当性向25%)



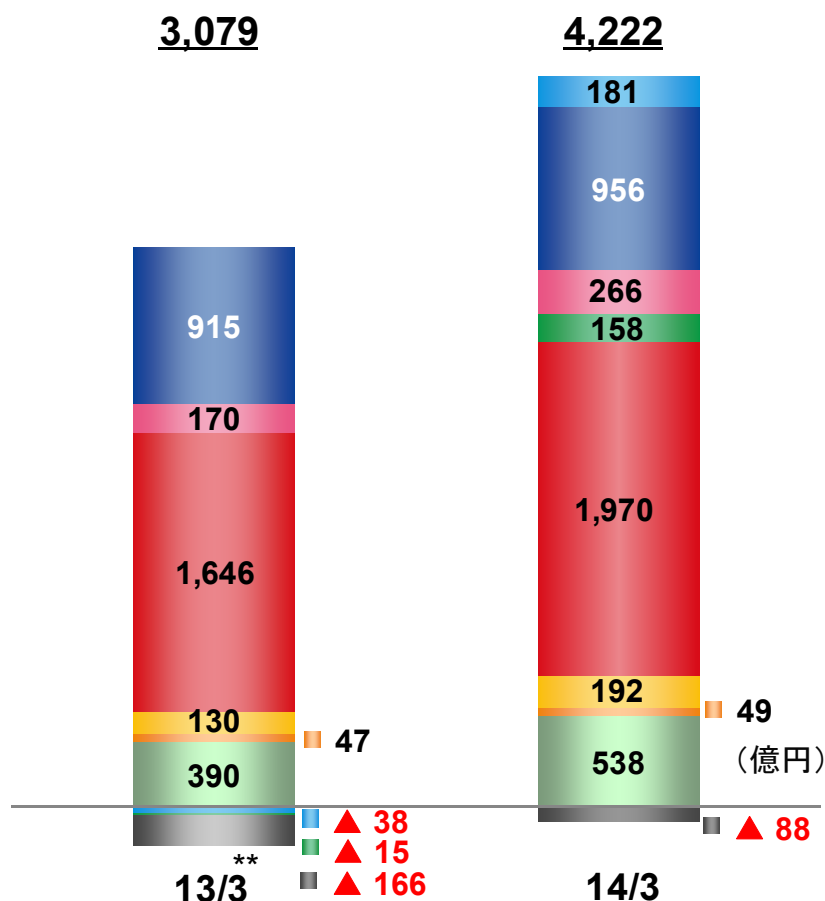
	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3
年間配当額/株	25円	18円	47円	55円	43円	59円
連結配当性向	26%	22%	23%*	23%	25%	25%

※後発事象として2011年3月期に認識したメキシコ湾原油流出事故和解金等の影響額を当期純利益から除いた3,679億円を前提に、連結配当性向23%を適用。

# 補足説明

# セグメント別当期純利益の前期比増減

(数値は税後ベース)



## エネルギー 1,970億円 前期比 +324億円 (+20%)

- ↑ LNGプロジェクトからの受取配当金増+350億円
- ↑ MEPMEは、原油の生産量増、生産コスト低下、円安、エジプト油田権益売却により+153億円
- ↑ 三井石油株式売却益+103億円
- ↓ MEPAUIは、油田生産設備の改修に伴う生産量減により▲126億円
- ↓ 関連会社未分配利益に係る繰延税金負債取崩減約▲80億円

## 鉄鋼製品 181億円 前期比 +219億円

- ↑ 貿易取引に係る為替損益の改善
- ↑ 前期の鉄鋼関連上場株式評価損の反動増+52億円
- ↑ トレーディングの復調

## 化学品 158億円 前期比 +173億円

- ↑ ダイセル株式売却益+33億円
- ↑ 前期の三井化学株式評価損の反動増+30億円
- ↑ 石油化学品原料トレーディングの復調

## 海外 538億円 前期比 +148億円 (+38%)

- ↑ 豪州鉄鉱石事業は、円安や能力拡張による鉄鉱石の数量増により91億円\*
- ↑ 米州MREシニアリビング施設売却+43億円
- ↑ 欧州MREEオフィスビル売却+40億円

## 金属資源 956億円 前期比 +41億円 (+4%)

- ↑ 豪州鉄鉱石事業は、円安や能力拡張による鉄鉱石の数量増により+364億円\*
- ↓ MLCC(カセロネス銅開発プロジェクト)宛投資の評価損▲141億円
- ↓ Valeparは、ValeによるREFIS(滞納税回収プログラム)への申請に伴う損失を反映し▲158億円
- ↓ 前期のコデルコ向け繰延融資手数料の反動減
- ↓ MCHIは、価格下落、未開発石炭鉱区評価損により▲39億円\*

## 機械・インフラ 266億円 前期比 +96億円

## 生活産業 192億円 前期比 +62億円

## 次世代・機能推進 49億円 前期比 +2億円

## その他、調整・消去 ▲88億円 前期比 +78億円

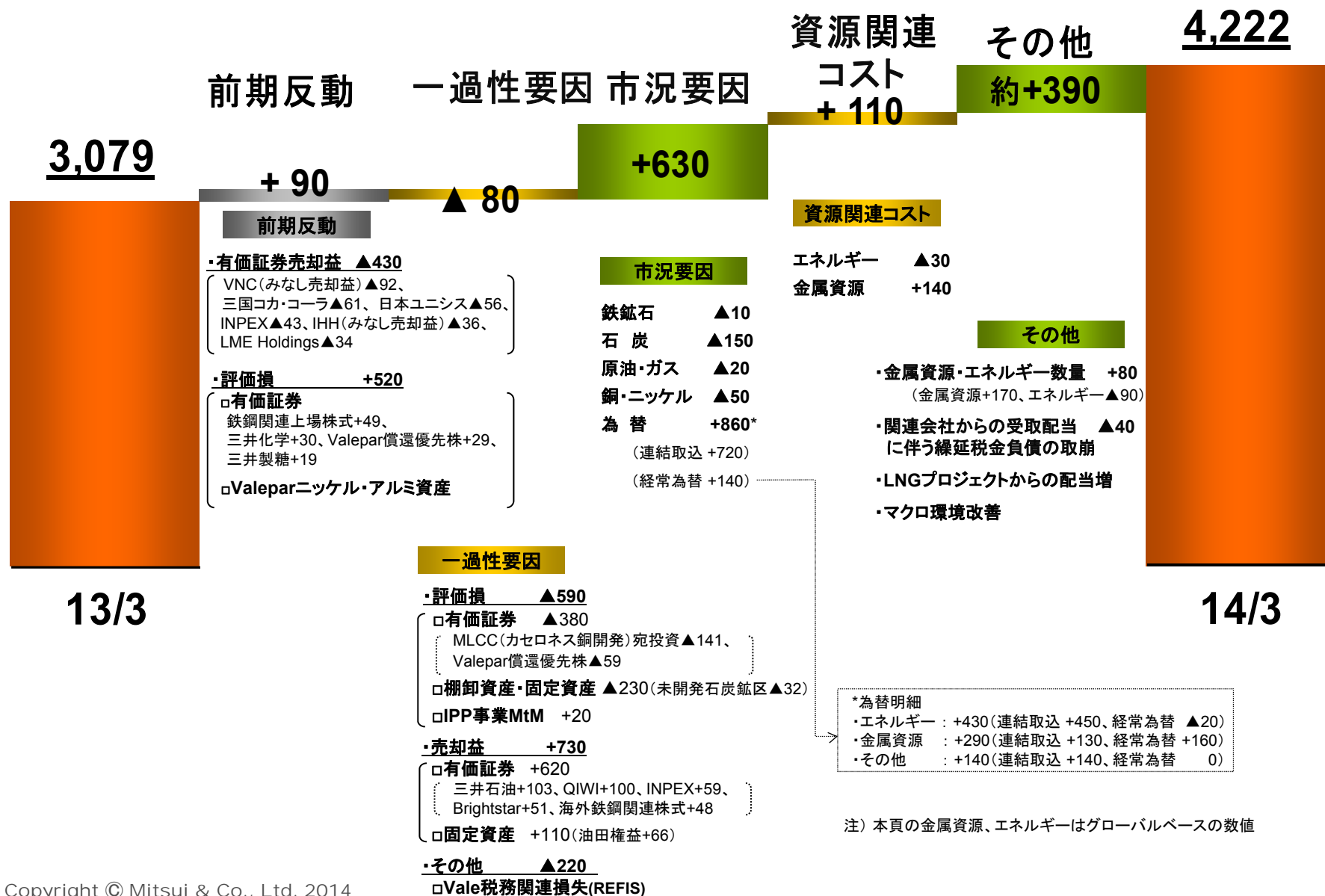
\* 当セグメント持分

\*\* 機構改組に伴う組替反映後

# 前期比の増減要素

(数値は税後ベース)

(億円)



13/3

14/3

\*為替明細  
 ・エネルギー : +430(連結取込 +450、経常為替 ▲ 20)  
 ・金属資源 : +290(連結取込 +130、経常為替 +160)  
 ・その他 : +140(連結取込 +140、経常為替 0)

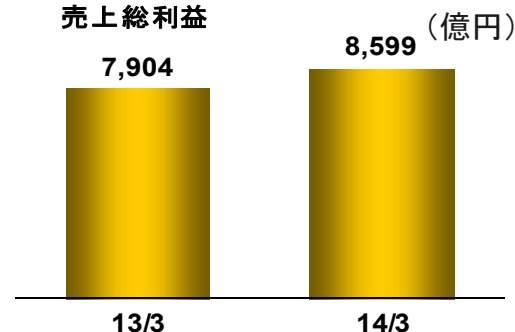
注) 本頁の金属資源、エネルギーはグローバルベースの数値



# Appendix

# 主要PL項目の前期比増減

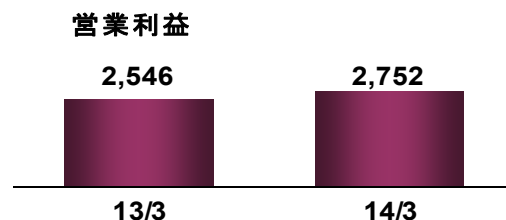
## 売上総利益



**売上総利益 8,599億円 前期比 +695億円 (+9%)**

- ↑ 金属資源 : +322億円 (MIOD、MII: 円安や能力拡張による鉄鉱石の数量増により+401億円)
- ↑ 海外 : +200億円 (米州+115: 為替要因+25 Cinco Pipe新規連結+21)
- ↑ 化学品 : +98億円 (円安、石油化学原料トレーディングの復調、堅調な農薬販売)
- ↑ 鉄鋼製品 : +89億円 (堅調なラインパイプ等の鋼管取引)
- ↑ 機械・インフラ : +87億円 (堅調な南米/自動車及び鉱山・建機関連事業、欧州/機関車リース事業)
- ↓ 次世代・機能推進 : ▲92億円 (商品デリバティブ取引関連為替利益の増加に対応する売上総利益の減少)

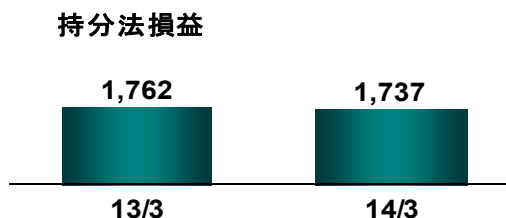
## 営業利益



**営業利益 2,752億円 前期比 +206億円 (+8%)**

- ↑ 売上総利益の増加を、円安による海外子会社の販管費増が一部相殺

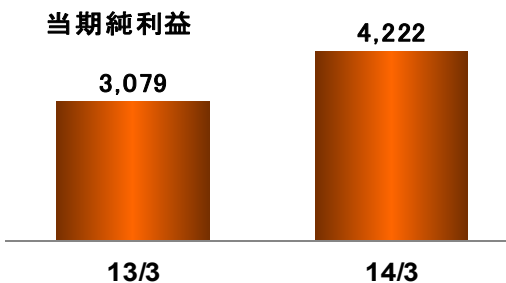
## 持分法損益



**持分法損益 1,737億円 前期比 ▲25億円 (▲1%)**

- ↓ Valeparは、ValeによるREFIS(滞納税回収プログラム)への申請に伴う損失を反映し▲158億円
- ↓ MLCC(カセロネス銅開発プロジェクト)宛投資の評価損▲141億円
- ↑ RRM(鉄鉱石の生産事業)は、円安により+118億円
- ↑ Collahusaiは、販売数量の増加及びコスト削減により+86億円
- ↑ Japan Australia LNG (MIMI)は、円安により増益
- ↑ MRMDは、出資する海外スクラップ事業の暖簾減損の反動により+33億円

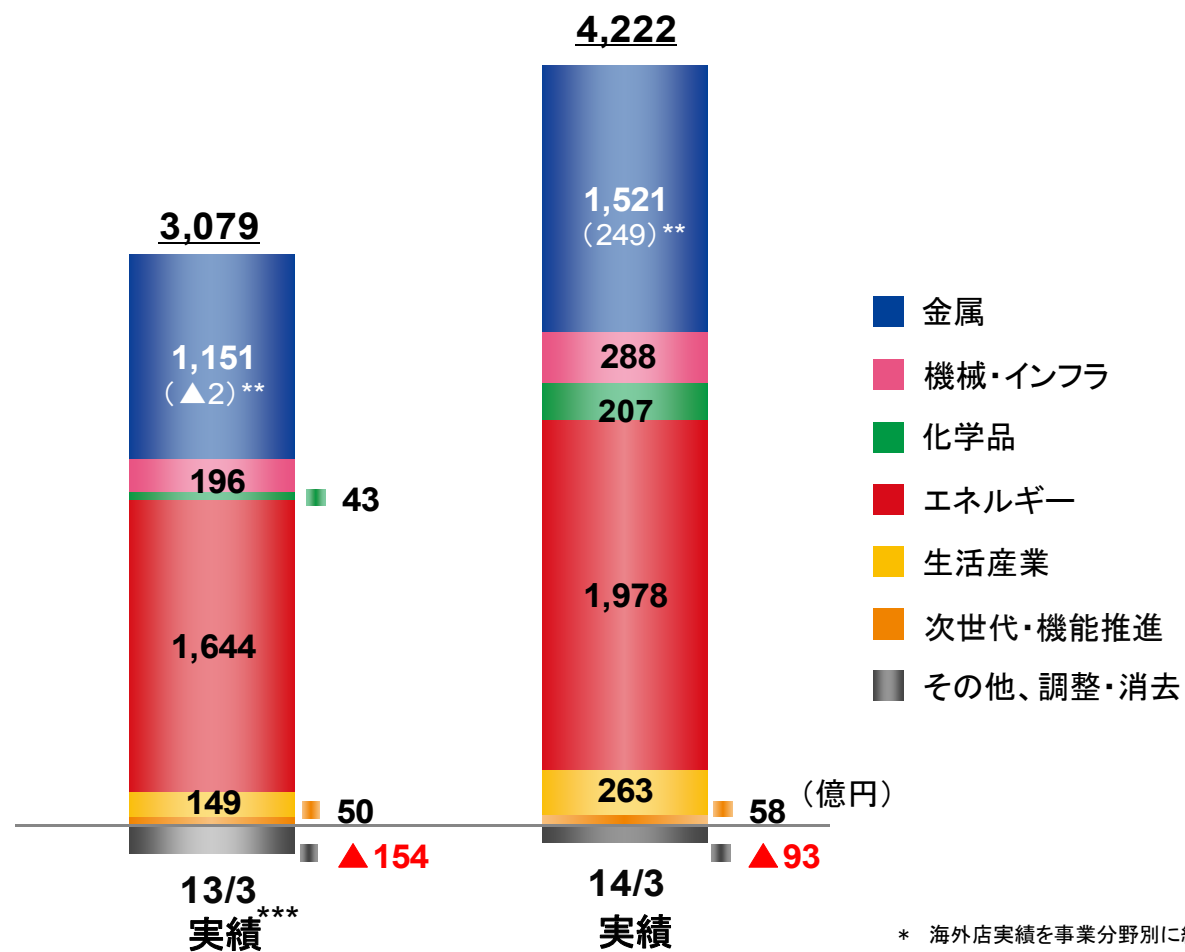
## 当期純利益



**当期純利益 4,222億円 前期比+1,143億円 (+37%)**

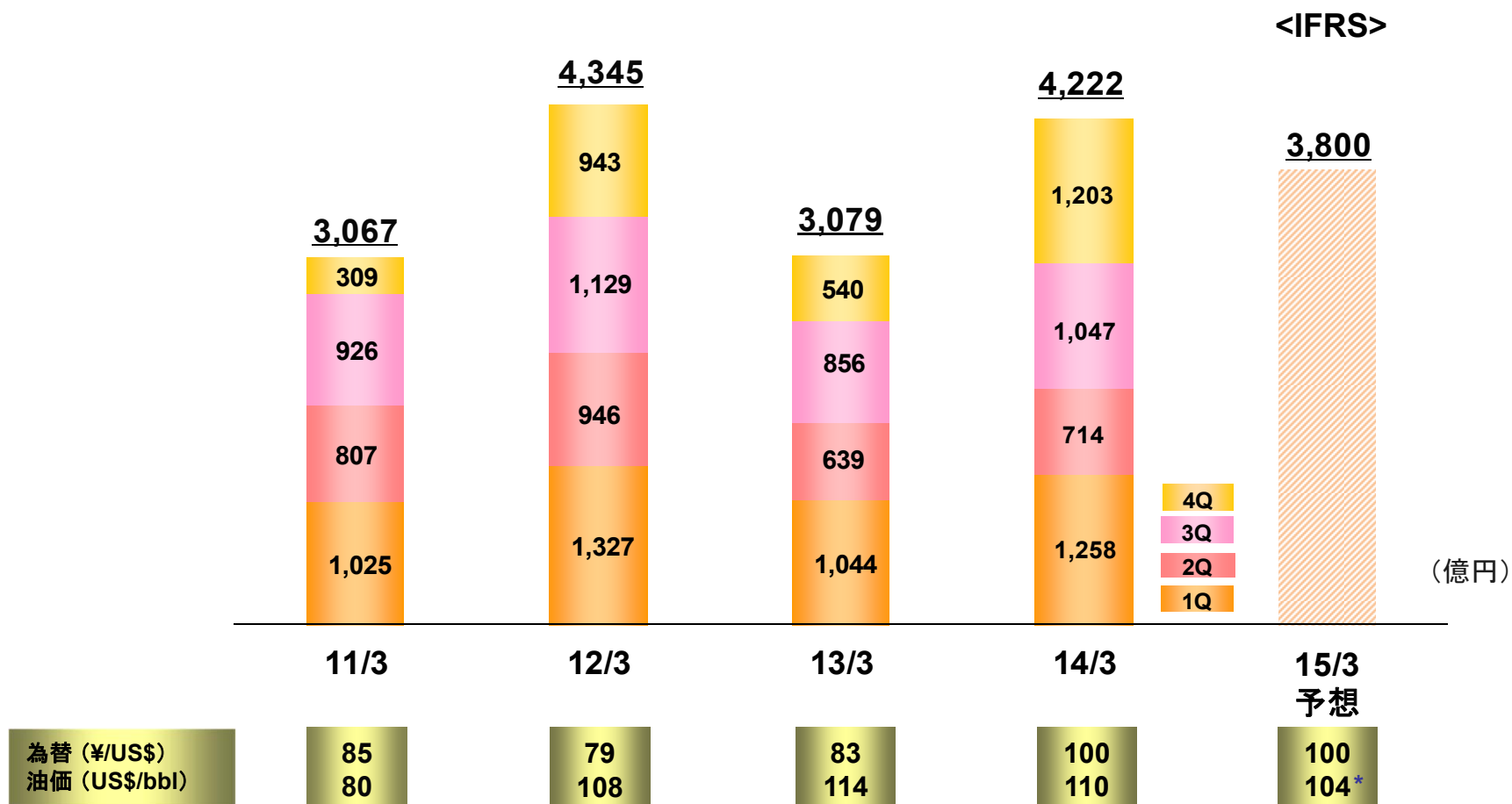
- ↑ 受取配当金 (税前)+404億円: サハリンIIを主因にLNGプロジェクトで+350億円
- ↑ 雑損益 (税前)+175億円: 商品デリバティブ取引に係る売上総利益に対応する為替損益+144億円
- ↑ 固定資産売却益 (税前) +95億円: エジプト・ニュージーランドの油田権益+62億円
- ↑ 有価証券評価損 (税前) +84億円:
  - 〔当期〕 ▲189億円: Valepar償還優先株▲95億円、LNGプロジェクト宛投資▲33億円
  - 〔前期〕 ▲273億円: 鉄鋼関連上場株式▲49億円、Valepar償還優先株▲45億円、三井化学▲30億円

# 全世界ベース 事業分野別 当期純利益(参考値\*)



\* 海外店実績を事業分野別に組替え算出した参考データ  
 \*\* ( )内は、鉄鋼製品のグローバルベースの純利益  
 \*\*\* 機構改組に伴う組替反映後

# 四半期毎の純利益推移



\* 原油価格(JCC)が年間を通してUS\$102/bblで推移した場合の当社決算に適用される原油価格を、US\$104/bblと想定。

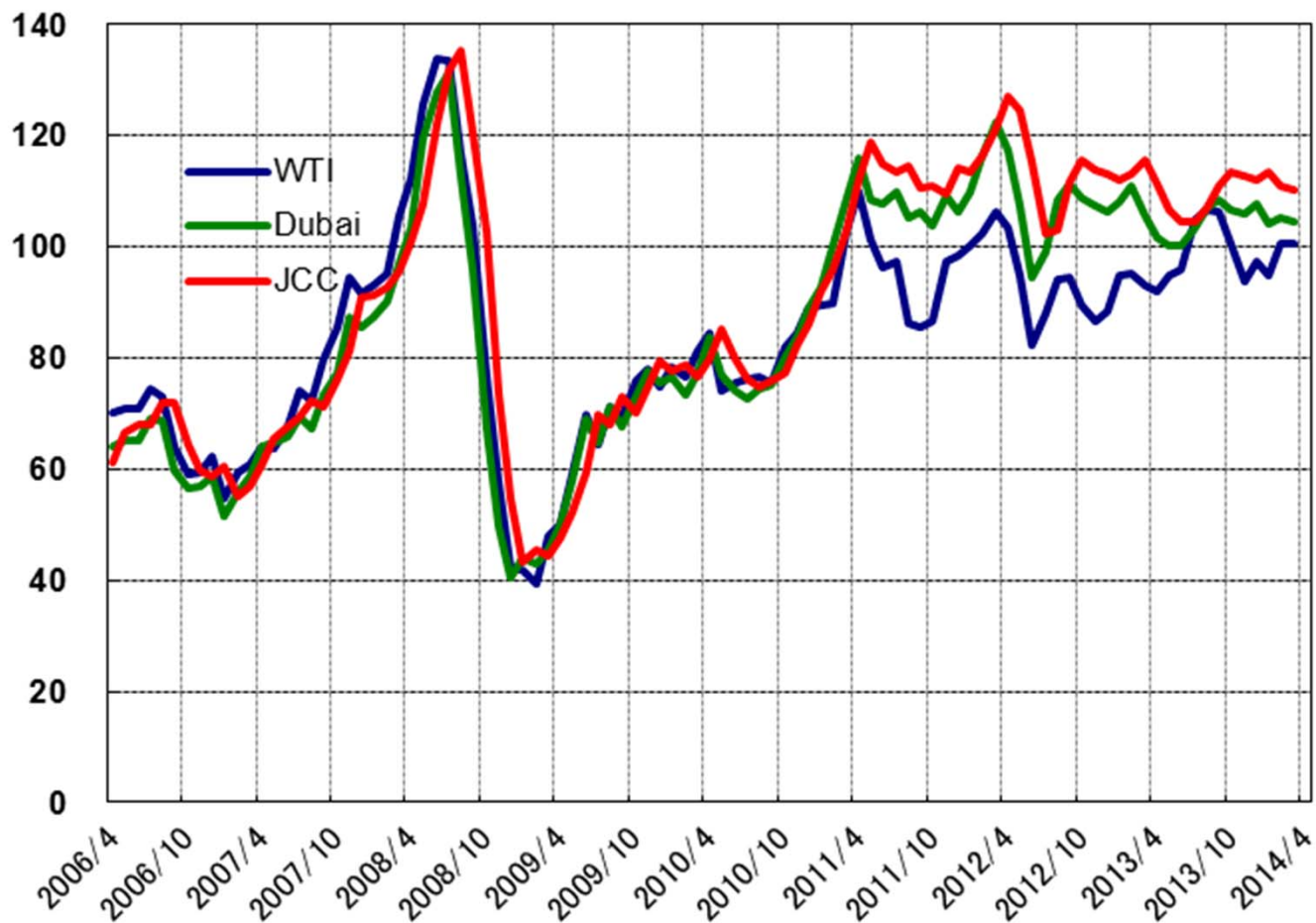
# 中国向け鉄鉱石スポット価格推移\* (参考値)



\*業界紙複数社によるスポット指標平均

# 原油価格推移

US\$/バレル



## 当社持分権益出荷量実績

	13/3期 1Q	13/3期 2Q	13/3期 3Q	13/3期 4Q	13/3期 累計	14/3期 1Q	14/3期 2Q	14/3期 3Q	14/3期 4Q*	14/3期 累計
鉄鉱石 (百万トン)	11.4	12.4	12.7	11.7	48.0	12.0	13.0	13.5	12.8	51.3
MIOD	7.0	7.6	7.6	6.3	28.6	7.4	8.1	8.0	6.9	30.4
MII	1.1	1.0	1.1	1.1	4.2	1.3	1.3	1.3	1.6	5.6
Vale**	3.3	3.8	3.9	4.2	15.2	3.3	3.6	4.2	4.2	15.3
石炭 (百万トン)	2.5	2.5	2.6	2.0	9.6	2.5	2.7	2.8	2.8	10.7
MCH	2.1	2.2	2.3	1.7	8.3	2.1	2.3	2.4	2.4	9.1
BMC**	0.3	0.3	0.4	0.3	1.3	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
原料炭	1.9	1.8	1.8	1.4	7.0	1.6	1.7	1.9	1.7	7.0
一般炭	0.5	0.7	0.8	0.6	2.6	0.8	1.0	0.9	1.0	3.7
銅 (千トン)***	11.1	10.9	12.5	20.0	54.4	21.2	23.6	31.2	32.3	108.3

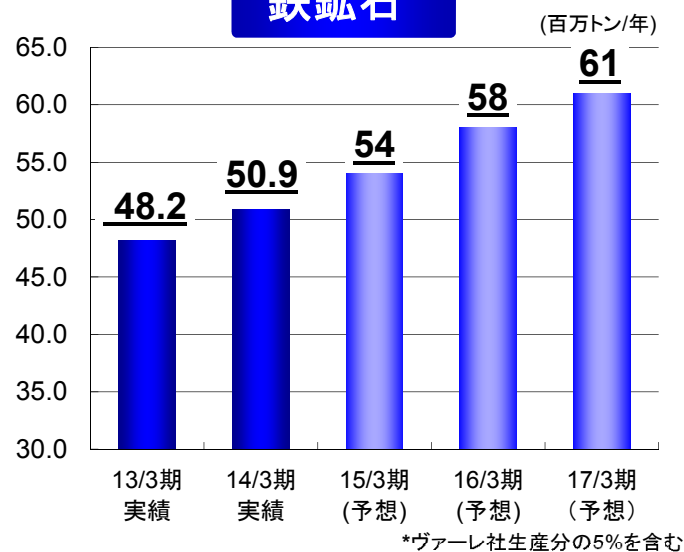
\* 石炭は速報数値 \*\* Vale、BMC及び銅は1Q:1-3月、2Q:4-6月、3Q:7-9月、4Q:10-12月の実績 \*\*\* Vale出荷分の5%含む

※合計が合わない箇所は四捨五入による。

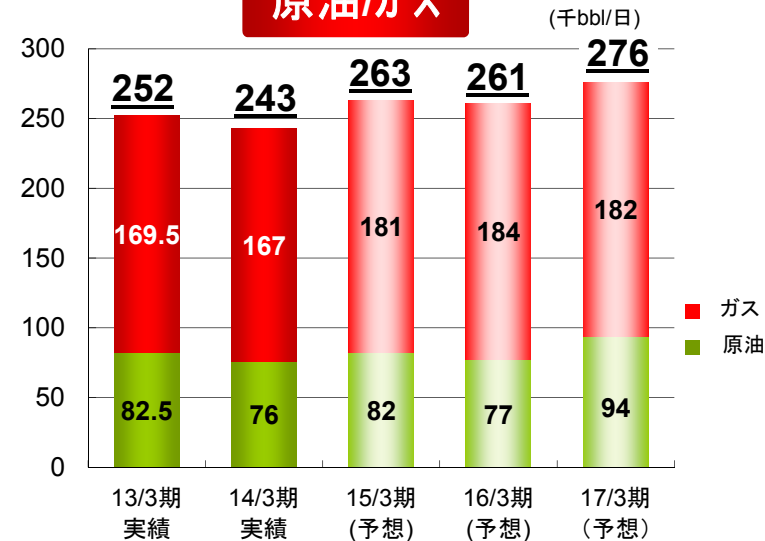
# 当社持分権益生産量

(2014年5月公表)

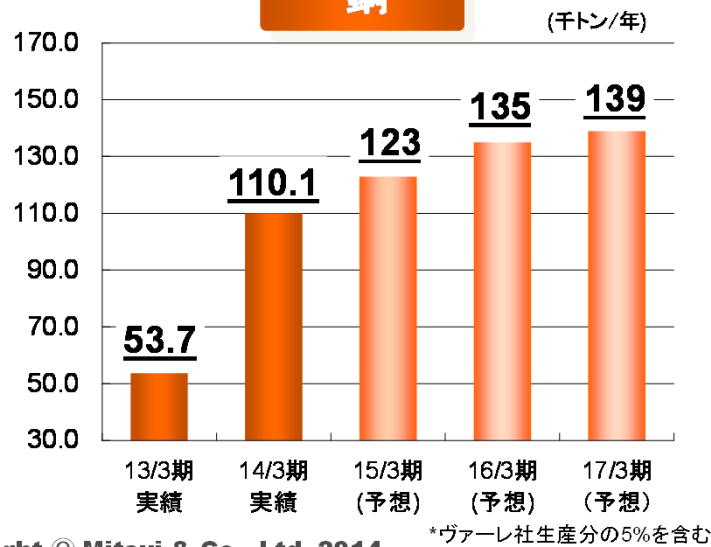
## 鉄鉱石\*



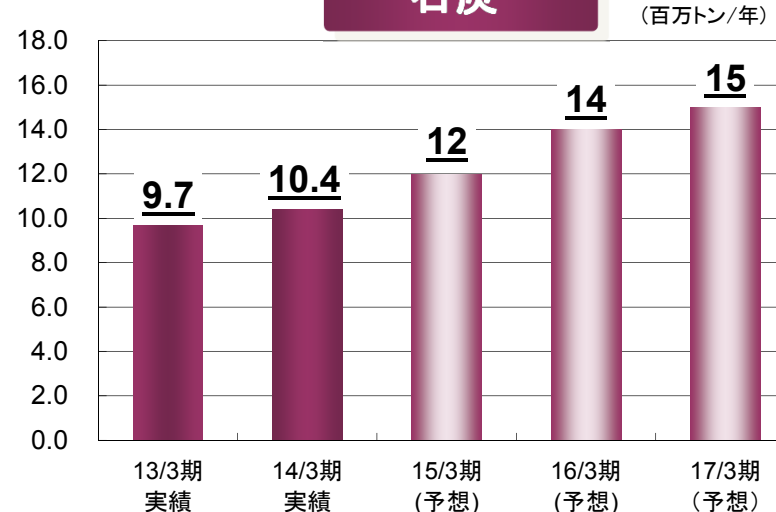
## 原油/ガス



## 銅\*



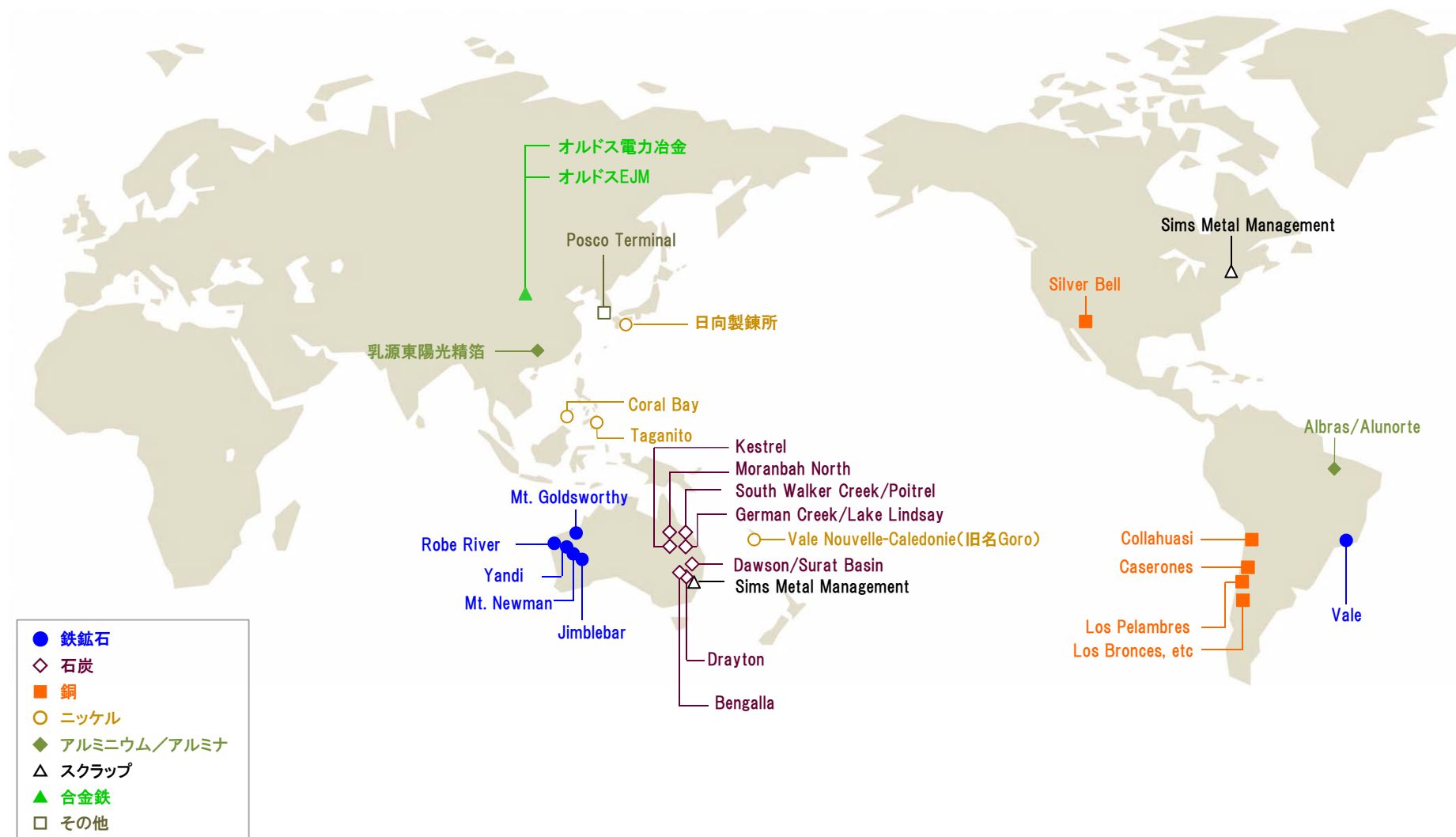
## 石炭\*





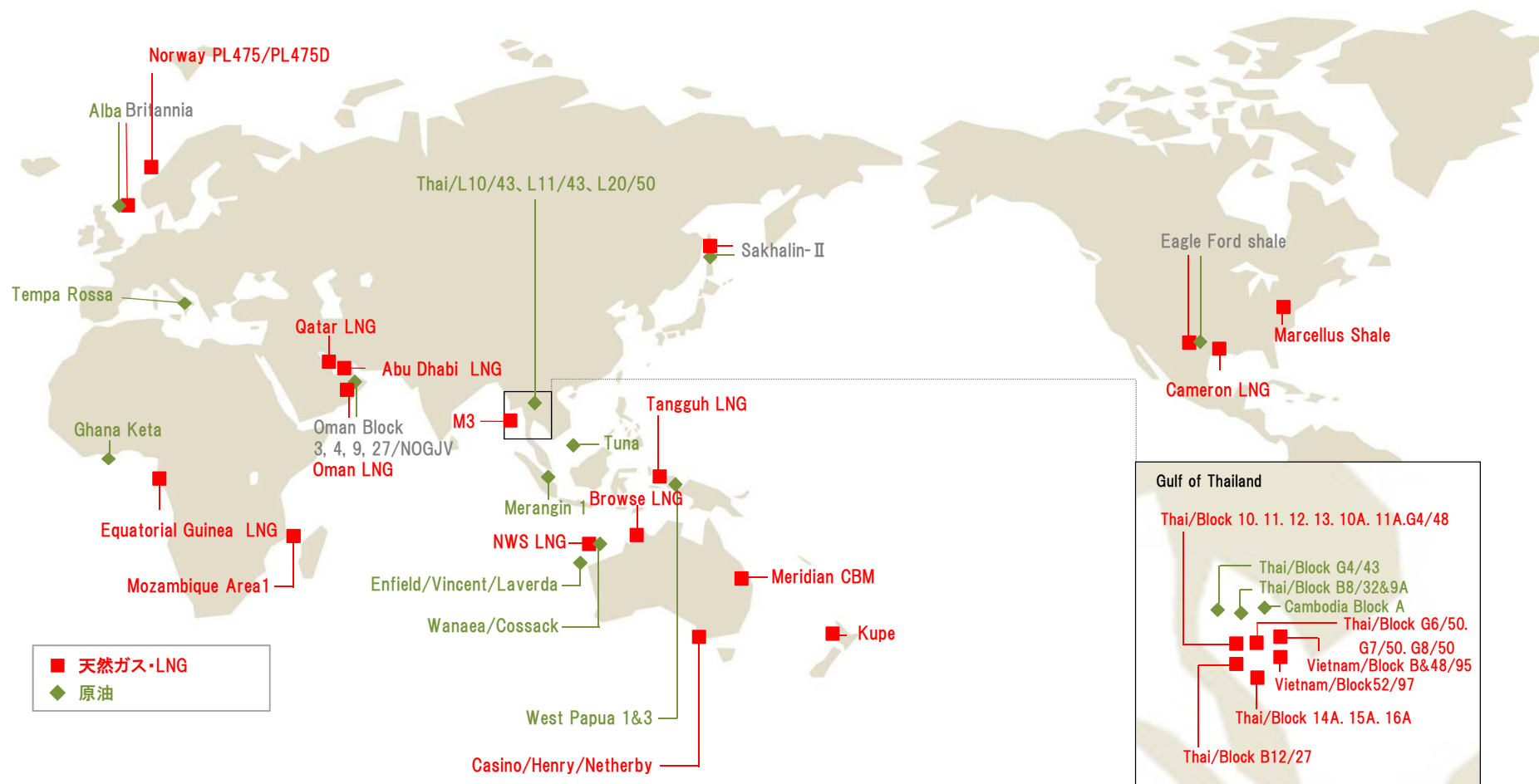
2014年3月末現在

# 金属資源の主なプロジェクト



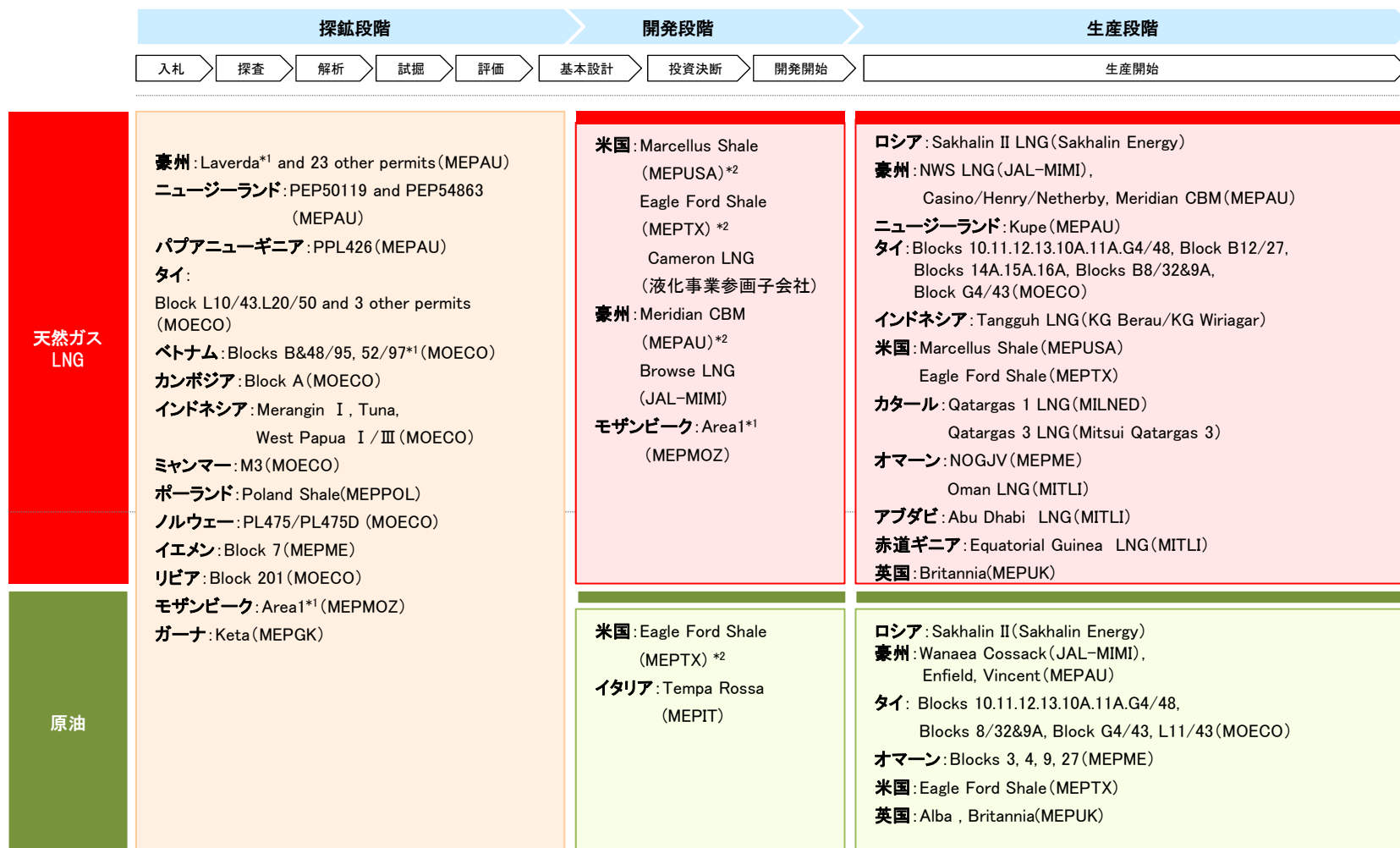
2014年3月末現在

# エネルギーの主な上・中流権益



2014年3月末現在

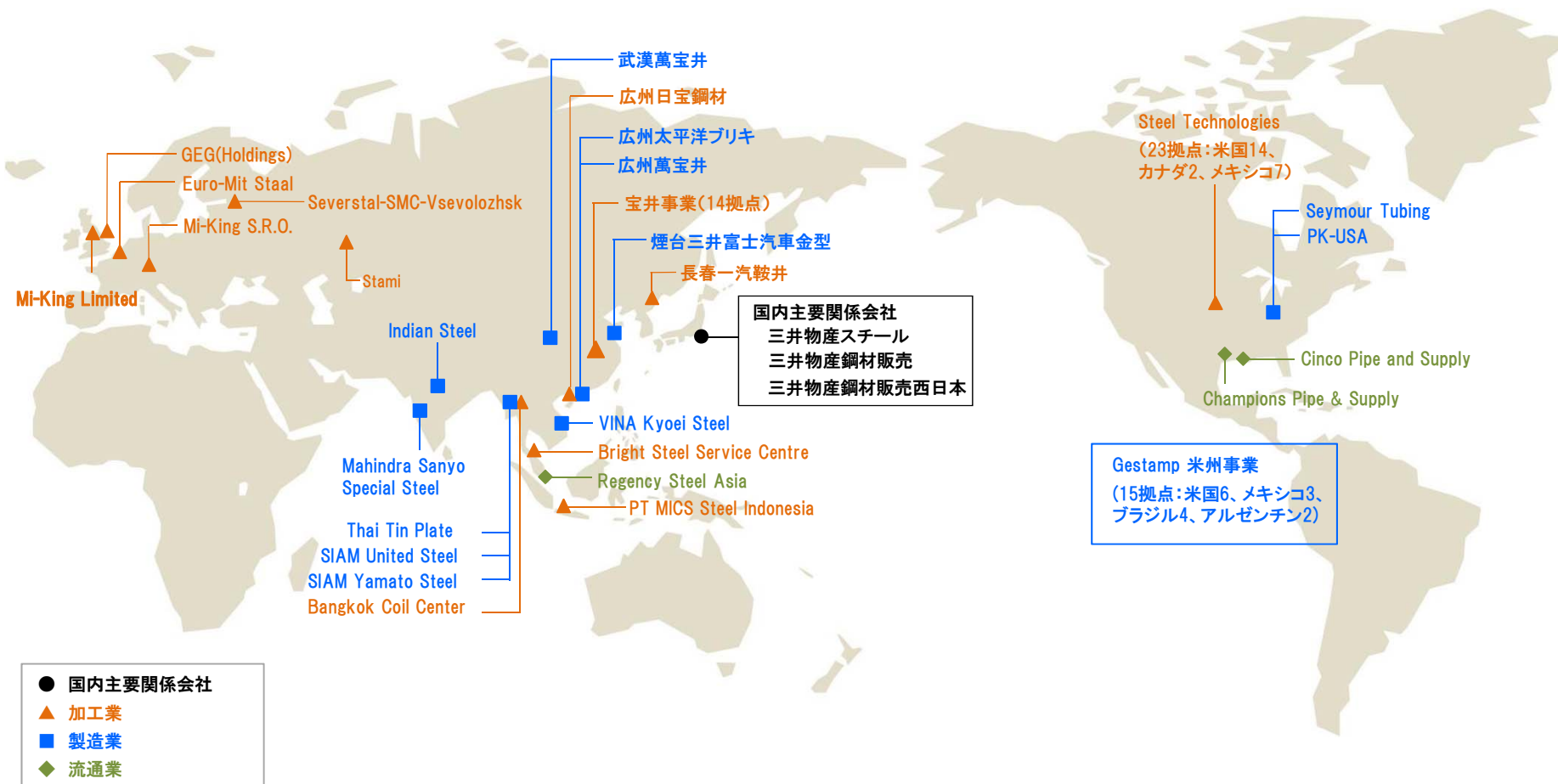
# 原油・ガスの主な上・中流権益



\*1 既発見未開発鉱区 \*2 一部生産段階移行済

2014年3月末現在

# 鉄鋼製品の主な事業投資



2014年3月末現在

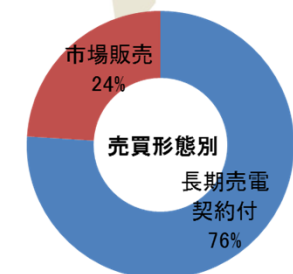
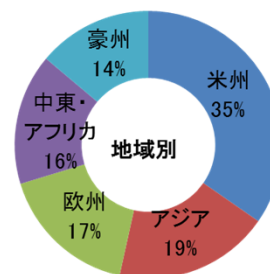
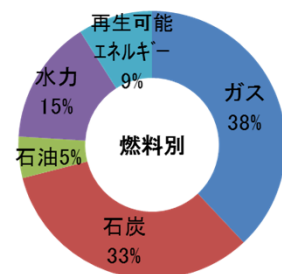
# 発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量(ネット): 8.5GW  
(グロス容量: 35GW)



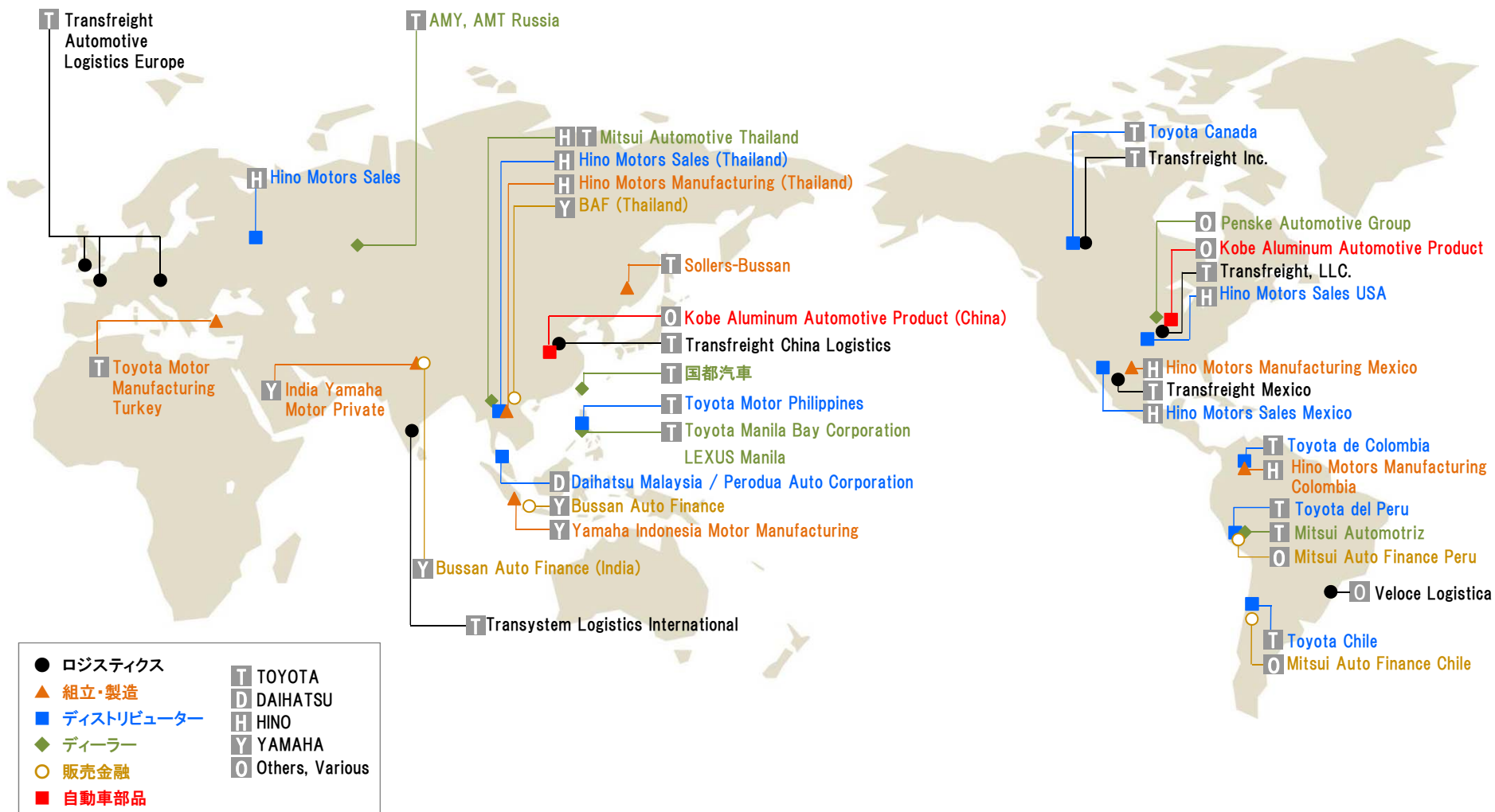
- ▲ IPM (UK) Power社保有資産
- IPM Eagle社保有資産
- ◆ MT Falcon保有資産
- IPAH保有資産
- その他
- 建設中発電所

ポートフォリオ分類



2014年3月末現在

# 自動車事業ポートフォリオ



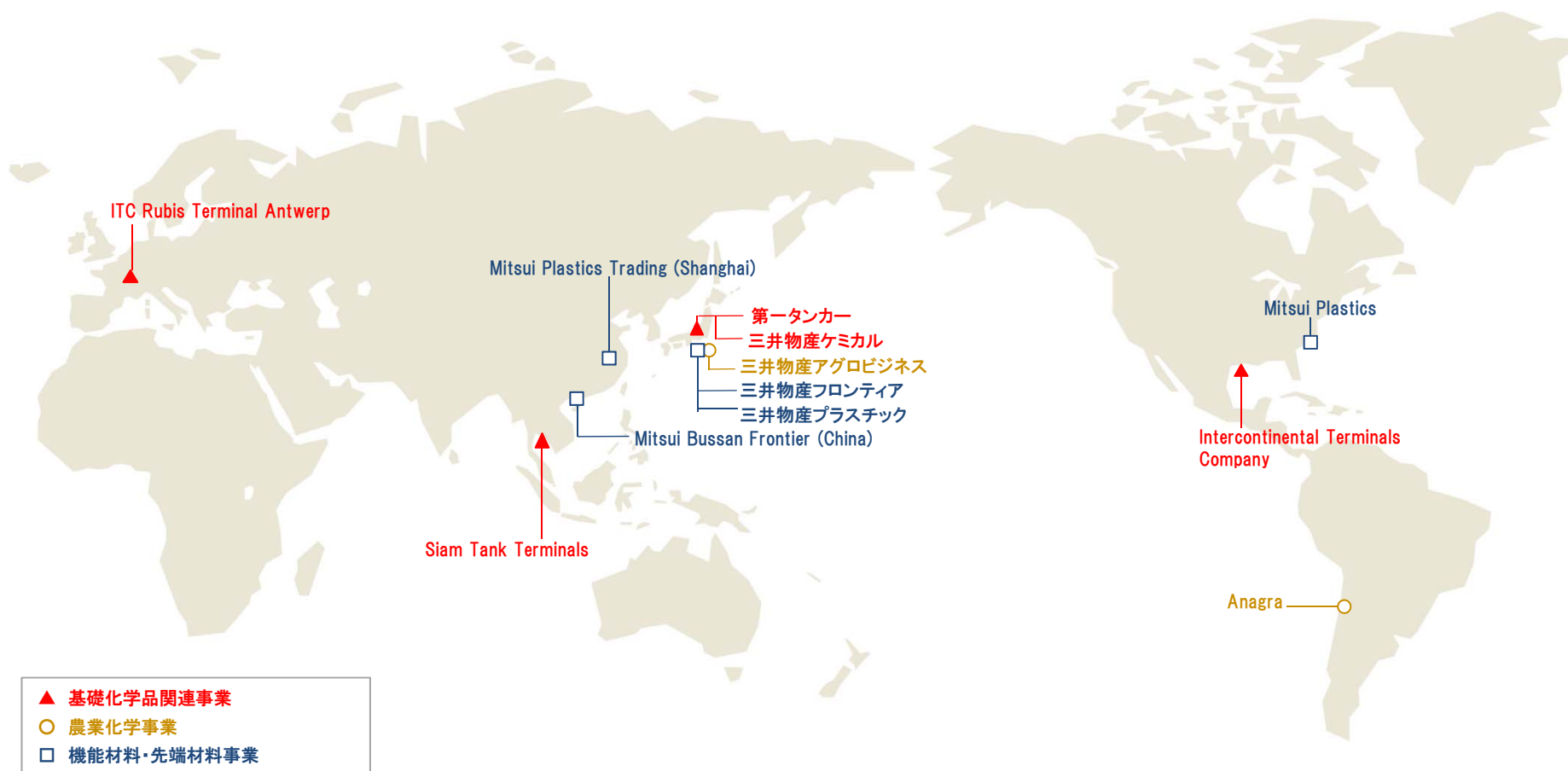
2014年3月末現在

# その他の主な機械・インフラ事業



2014年3月末現在

# 化学品の主な物流事業型投資





2014年3月末現在

# 化学品の主な製造事業型投資



2014年3月末現在

# 食糧・食品事業の主な海外事業投資



2014年3月末現在

# コンシューマーサービスの主な事業投資

